

# 「カンジダ血症に対する AST による血液培養カンファレンスの評価」について

加古川中央市民病院薬剤部は、下記の研究を実施いたします。  
尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

## 【概要及び利用目的】

侵襲性カンジダ症においてカンジダ血症は死亡率が高い予後不良の感染症です。「深在性真菌症の診断・治療ガイドライン 2014」では侵襲性カンジダ症の予後改善を目的に ACTIONs Bundle の実施を推奨しています。当院でもカンジダ血症の ACTIONs Bundle 2014 を用い、2016 年 7 月から 2018 年 5 月までは感染症を専門とした薬剤師が週 2 回、2018 年 6 月からは抗菌薬適正使用チーム（Antimicrobial Stewardship Team 以下 AST）が週 5 回、血液培養カンファレンスを行い、カンジダ症の診断・治療のチェックリストの Bundle の項目がプロトコル通りに実施されているかを評価し、実施できていない内容を医師へ提言するなどの介入を行ってきました。  
今回、カンファレンス方法の変更が行われた前後で、カンジダ血症の ACTIONs Bundle 2014 の遵守率がどう変わったか、また死亡率、臨床的治療効果がどのように変化したかをもとに、血液培養カンファレンスの有効性、有用性を明らかにします。

## 【研究期間】

研究期間：病院長承認日～2023年3月31日

## 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2016 年 7 月～2020 年 5 月までに血液培養からカンジダ菌が検出された患者さんの診療録より下記のデータを収集いたします。

- ・ 基本情報：年齢、性別、併存疾患、過去の手術歴
- ・ 患者情報：診断名、投与薬剤、投与量と投与期間など
- ・ データ収集内容：転帰、臨床的治療効果（抗真菌薬の効果、炎症所見、血液培養の結果等）

## 【個人情報保護の方法】

すべての患者さんの情報は匿名化され、第3者にはその情報が誰のものかわからないように対応表を作成して研究をすすめます。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を遵守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

## 【データおよび試料提供による利益・不利益】

- 利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は特にありませんが、本研究結果が今後の治療の向上に有用となる可能性があります。
- 不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

## 【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院薬剤部において厳重に

保管します。

患者さんが本研究に関するデータ使用の取りやめを申し出られた際、申し出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄します。

#### **[研究成果の公表について]**

本研究の成果は参加される患者さんの個人情報が明らかにならないように匿名化が厳守された上で学会や学術雑誌等で公に発表することがあります。

#### **[研究へのデータ使用の取りやめについて]**

研究への参加の取りやめを申し出ることはいつでも可能です。取りやめを申し出られても、その後の診療において不利益を受けることはありません。しかし、研究への参加の取りやめを申し出られた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には結果を廃棄できないことをご了承ください。

#### **[問い合わせ窓口]**

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい時や、患者さんのデータの使用を望まれない時など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 薬剤部

研究責任者名：宮崎 祐介

連絡先：079-451-5500